宮城野木賀温泉夏祭り

虫送りとは、収穫期の前に作物への被害を防ぐために害虫を駆逐する夏の風習で、日本中の農業地域で行われています。この伝統的な行事は、毎年8月14、15日に行われる宮城野木賀温泉夏まつりの目玉となっています。参加者は夕暮れ時、松明を手に村を練り歩き、その光で虫を脅かして箱の中に追いやります。夜の終わりには、豊作祈願の一環でこの入れ物を燃やします。虫送りの慣習の起源は古いですが、これに結びついた祭りが宮城野木賀で始まったのは1960年代のことです。両日の夜、村は伝統的な様式の提灯に灯され、飲食の屋台だけでなく音楽や踊り、そして路上パフォーマンスが地元の人たちから観光客まで魅了します。